

タンザニア「Ladies First 女子陸上競技会」 2017年～継続中(2023年9月現在)



第4回Ladies First (100m走)

背景/課題

タンザニアでは「スポーツは男性がするもの」という考え方が根強く、女性がスポーツに取り組む環境や機会は限られている。他方、地方部では男性による女性への家庭内暴力や若年妊娠の問題など、男女の格差がいまだ色濃く残っている。

目的

- 「Ladies First」女子陸上競技会を開催し、トレーニングや大会への出場の機会が限られてきた女子陸上選手に光を当て、近い将来、国際大会で輝く原石の発掘また育成を目指す。
- ジェンダー平等・女性のエンパワメント支援、スポーツ振興、体育教育の発展等に貢献する。

活動内容

- 元マラソン選手ジュマ・イカンガー氏(JICAタンザニア事務所広報大使)をアドバイザーとし、国家スポーツ評議会(National Sports Council: NSC)と共に女子陸上競技会を開催

成果

- 将来有望な選手の発掘や上位入賞者の国際大会出場経験による競技力の向上(長井マラソンへの参加)等のスポーツ振興へ寄与、およびJICA海外協力隊員と連携し、リクリエーションスポーツの実施等を通じた体育教育への新しい見方や知見を共有。
- サイドイベントでジェンダー平等/女性のエンパワメントの啓発と啓蒙として、日本人有識者による女性のエンパワメントワークショップ、草の根技術協力チームとの連携による若年妊娠・結婚予防啓発プログラム、生理用品使い方講座、健康促進啓発等を実施。
- 南スーダン「国民結束の日」(全国スポーツ大会)担当の南スーダンスポーツ省次官・局長の視察受入れによる他国への展開。